

みぶりんだより

壬生町町民活動支援センター「みぶりん」

2022年10月号 Vol.98



●開館時間

火～金 10時～18時
土・日・祝 10時～17時

●休館日

月曜日・年末・年始

〒321-0214 壬生町大字壬生甲 3843-1(保健福祉センター内)

TEL 0282-21-8731 FAX 0282-21-8732

E-mail: miburin@bz04.plala.or.jp

<http://www.town-mibu.com/miburin/>

令和4年度(2022)生涯学習セミナー
「人生100年 壬生で学び生きる」
—SDGsの社会を目指して—

森のハープ弾き

日 時▶10/22(土) 13:30～15:30

会 場▶壬生町生涯学習館 講堂

参加費▶100円(お茶代として)

※当日はマスク着用でご参加ください。



演奏者／阿久津瞳さん

★プロフィール

栃木県芳賀郡芳賀町生まれ。

2022年宇大大学院 地域創生科学研究科社会デザイン科学専攻 コミュニティーデザイン学卒/豊琴教室 林音主催/森林インストラクター/(株)つむぎ代表

主 催▶壬生町セミナースタッフ「みち」
(壬生町教育委員会 委託事業)

問合せ▶福田 TEL86-0153

間中 TEL86-1783

みずべの寺子屋 in しののめ 参加者募集!!

秋の黒川親子自然体験教室!!

ホタル幼虫・昆虫観察!!

参加費無料

日時▶11/13(日) 10:00～12:00

集合場所▶ふれあい交流館前(東雲公園内)

(壬生町大字壬生甲599番地)

参加対象者▶小学生までの親子(家族も可)

10組程度(30名まで)



- 内容
- 1.自然の仕組みを知ろう！
 - 2.ホタルのようちゅうかんさつ!!
 - 3.川のまわりのこんちゅうを知ろう！
 - 4.きのこの収穫体験もあるよ!!

持ち物▶虫取り網、虫かご、川の周辺を歩くので長ぐつ、帽子、タオル等をご持参ください。

申込先▶みぶりんへ、10/4(火)より、お電話のみでの受付となります。

問合せ▶川の日を国民の祝日にしよう会
中里まで 電話 090-9319-7991

主催▶川の日を国民の祝日にしよう会

後援▶壬生町・下都賀漁業組合壬生支部

協力▶壬生町の環境保全とプラごみゼロの会・
壬生ホタル愛好会・リンネ農園

- ②・壬生高生と竹あかりでまちづくり(壬生町竹あかり製作実行委員会)

・竹とんぼ 高く上がるかな！(きりちゃん工房 桐林 和行様)

・ウクライナを知って支援しよう！(ママパパカフェ)

- ③・夏休みの思い出作り(壬生町こども発達センタージニアスにて)

★レクリエーションインストラクターめぐりん ★栃木県マジックホップの会

・居場所づくり活動を発表(NPO 法人みぶまち地域活性化21)

- ④【お達者サロンレポート】

★東下台いきいきサロン ★下馬木お達者サロン

目
次





壬生高生と竹あかりでまちづくり 壬生町竹あかり製作実行委員会

8月23日、「壬生町竹あかり製作実行委員会（落合英行会長）」は、株式会社水井様の作業場において、壬生高生に竹あかりの制作を指導しました。

「壬生・ふるさと夢大使」のサトウヒロコ様も参加し、高校生とともに、竹にデザイン紙を貼り付け、模様に合わせて電動ドリルで穴を開けました。生徒は「とても楽しかった」と、出来栄えに感動していました。

また9月18日に壬生駅で行われる「いちご一会とちぎ国体」のPRイベントにも学生ボランティアとして参加を予定しています。

（会員 萩原二三雄様記）



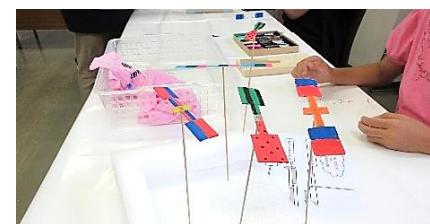
竹とんぼ 高く上がるかな！

きりちゃん工房
桐林 和行様

8月7日、壬生町立図書館は、講師に「きりちゃん工房」の桐林和行様を迎えて、小学生の親子を対象に、夏休み工作教室「親子で作ろう！竹とんぼ」を開催しました。

桐林様の丁寧なサポートを受け、親子で協力して羽根を削り、お湯につけ乾かす工程を経て、「より高く！」 「より遠くに！」という思いを込めて、羽根のデザインに取り組みました。

子どもたちの遊びが、ゲーム機やスマホに変わる中、手づくりの楽しさや魅力に触れることができ、楽しい親子の交流の場となりました。（みぶりん記）



ウクライナを知って支援しよう！ ママパパカフェ



8月28日、「ママパパカフェ」は、「ウクライナを支援するひまわりの会」と共催し、壬生町城址公園ホールにおいてチャリティーイベント「ウクライナを知って支援しよう！」を開催しました。

ウクライナの音楽演奏は、キコキコ弦楽四重奏の皆さんをはじめ、ピアノやサックスの音色がホール内に響き渡り、参加者の心は一つになりました。

また、壬生町在住のウクライナ出身の方から「自由と生きる権利をなぜ奪うのか」と、戦争の恐ろしさや悲しさをお話しいただきました。

さらに5月のイベントの寄附の使用用途の報告もありました。（みぶりん記）

新規登録団体・個人

みぶりんでは、団体・個人の登録を随時受け付けています。

登録No.	名称	登録No.	名称
団体333	道の駅みぶボランティアクラブ	団体336	壬生町竹あかり製作実行委員会
団体334	ポピーY.S	個人60	ITボランティア「いるか会」 村上祥子
団体335	シルバー大40期OB盆ダンスクラブ		

夏休みの思い出作り 壬生町こども発達センタージニアス

①めぐりん(岡本恵様)・②栃木県マジックホップの会



①レクリエーションインストラクター・めぐりん(岡本恵様)

8月4日、「めぐりん(岡本恵様)」を迎えて、レクリエーションゲームを楽しみました。

子どもたちは「最強チーム」と「ロボットチーム」に分かれ、ボール渡しや、新聞紙に穴を二つ開け頭からかぶり、互いに引っ張り合い破れたら負けのゲーム、新聞裏返しゲームなど、今まで遊んだことのないゲームに夢中になって楽しんでいました。

最後にけん玉を作り、あっという間のひと時に大喜びでした。
(みぶりん記)



②栃木県マジックホップの会

8月18日、「栃木県マジックホップの会(馬場廣代表)」を迎えて、マジックショーを楽しみました。

次々に披露されるマジックに子どもたちは「ふしぎ!」「びっくり!」「ありえない!」など、大喜びで拍手と歓声を送っていました。

マジックのお礼に、みんなで「ありがとう」の気持ちを込めて作った色紙を送りました。

(みぶりん記)



居場所づくり活動を発表

特定非営利活動法人
みぶまち地域活性化21



7月30日、壬生町役場において「知事と語ろう!とちぎ元気フォーラム in 壬生」が開催されました。

特定非営利活動法人「みぶまち地域活性化21」は、子どもたちや高齢者、外国人、ひとり親家庭、仕事を失った方への支援として、「焼き芋カフェ」や「食糧支援事業」「みぶまちこころのホットカフェ事業」などの活動を報告しました。

福田富一知事は、「長年にわたり地域の課題を解決する活動に敬意を表します。困っている町民に手を差し伸べる活動を広げ、心のオアシスをつくってほしい。」と話されました。(会員記)





南国の風を感じよう

マイスタジオ・レファ・リコ
東下台いきいきサロン

8月9日、「東下台いきいきサロン(手塚基二代表)」は「マイスタジオ・レファ・リコ(新井里子代表)」を招き、フラダンスを披露していただきました。

フラの華やかな衣装と、美しくゆったりとしたしなやかな動きは参加者を魅了しました。また子どもたちの可愛らしいダンスに笑顔がほこびます。

最後は、ハワイアンミュージックにアレンジされた「君といつまでも」で、南国の風を感じたひとときとなりました。(みぶりん記)



壬生の歴史をたどる 下馬木お達者サロン

8月10日、「下馬木お達者サロン(清水利通代表)」は、講師に「壬生の町ガイドボランティアの会(藍田收会長)」会員3名を迎え、壬生町の歴史の講話を開催しました。

国谷の明城遺跡は、弥生時代から古墳時代にかけての集落址で、6軒の住居址が発見されたことや、全国260藩校の中で壬生藩の学習館が最も古いことが紹介されました。

その他、昭和8年の精忠神社での武者行列の映像が流れ偉人の紹介や、壬生町の地名の由来、古墳の数などの説明がありました。

壬生町の歴史をたどり、知識を深めることで、故郷の素晴らしいを再発見しました。

(みぶりん記)



みぶりんをご利用の際は、感染症予防対策をお願いします。

◇日頃の健康管理(検温の実施)◇手洗いの徹底や手指消毒◇マスクの着用

※現在、会議室等(みぶりんミーティングルーム含む)及びPCの貸出を停止しています。



☆「みぶりんだより」は下記のところに置いています☆

みぶりん・保健福祉センター・壬生町役場・各出張所・コミュニティセンター・各公民館・生涯学習館・図書館・歴史民俗資料館・体育館・みらい館・おもちゃ博物館・嘉陽が丘ふれあい広場・ふれあい交流館・シルバー人材センター・各小中学校・壬生高校



【編集後記】★ギックリ腰の回復に時間がかかるようになってしましました。「悲」。(越路) ★9月初めに発生した台風11号は、西へ、南へと迷走し、今度は北へと進路を変えた動きの表現を「大酒飲み型」と呼びそうです。妻からまるで「お父さんみたい(そんなことない)」(落合) ★おうちのなかを断捨離中です。意外に懐かしいものが出てきたりしてなかなかお部屋が片付きませんが、頑張っています。(小田垣) ★しつぽが折れたり、曲がっている猫を「鍵しつぽ猫」と呼びます。「幸せの扉を開けてくれる」「幸せを引っかけてくる」と縁起の良い言い伝えがあります。我が家家の鍵しつぽ猫の「あめ」も、私たちにたくさんの幸せを運んできてくれました。(渡邊)

